

NEC

N8143-122 17.3 型 LCD コンソールユニット (1Server)

スタートアップガイド

2017 年 4 月 初版

はじめにお読みください

本製品の使用につきましては、本書や本製品のユーザーズガイドおよび、Express サーバに添付のユーザーズガイドを参照の上ご使用願います。 また、ご使用の前に「使用上のご注意」を必ずお読みください。 本書をお読みになった後は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いて置くようにしてください。

使用上のご注意（必ずお読みください）



本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。 また、本文中の名称については、ユーザーズガイドの「各部の名称と機能」の項をご参照ください。

安全に関わる表示について







本製品を安全にお使いいただくために、本書の指示に従って操作してください。

本書には本製品のどこが危険で、どのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明しています。 また、本製品で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。





本製品に付属するドキュメント類、および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。 それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義しています。

	<b>警告</b>	人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
	<b>注意</b>	火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の 3 種類の記号を使って表しています。 それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義しています。






	注意の喚起	この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。 記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	例：感電注意 
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。 記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	例：分解禁止 
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。 記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。 危険を避けるためにはこの行為が必要です。	例：プラグを抜く 




（本書での表示例）

注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
		<b>注意</b>
 	<b>指定以外のコンセントに差し込まない</b> 指定された電圧で、アース付きのコンセントをお使いください。 指定以外で使うと火災や漏電の原因となります。	

本書と警告ラベルで使用する記号とその内容







	感電のおそれのあることを示します。		指がはさまれてけがをするおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		けがをするおそれがあることを示します。
	爆発または破裂のおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。








	本製品を分解・修理・改造しないでください。 感電や火災のおそれがあります。		濡れた手で触らないでください。 感電するおそれがあります。
	水や液体がかかる場所で使用しないでください。 水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。		指定された場所以外には触らないでください。 感電や火傷などの障害のおそれがあります。
	特定しない一般的な禁止を示します。		

	本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。 火災や感電のおそれがあります。		必ず接地してください。 感電や火災のおそれがあります。
	特定しない一般的な使用者の行為を指示します。 説明に従った操作をしてください。		




安全上のご注意



全般的な注意事項










	警告
	<b>人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない</b> 本製品は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込み、およびこれらの機器の制御などを意図していません。 これら設備、機器、または制御システムなどに本製品を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いません。
 	<b>煙や異臭、異音がしたまま使用しない</b> 万一、煙、異臭、異音などが生じたときは、ただちに電源を OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。 その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。 そのまま使用すると火災の原因となります。
 	<b>針金や金属片を差し込まない</b> 通気孔やすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。 感電の危険があります。

	注意
 	<b>日本国外で使用しない</b> 本製品は、日本国内用として製造・販売しています。 日本国外では使用できません。 本製品を日本国外で使用すると火災や感電の原因となります。
 	<b>本製品内に水や異物を入れない</b> 本製品内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。 火災や感電、故障の原因となります。 それらが内部に入ったときは、ただちに電源を OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いた後、分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。
 	<b>液晶ディスプレイを破壊したり傷つけたりしない</b> 液晶ディスプレイが破損して内部の液体が口に入った場合は、すぐにうがいをしてください。 また、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で 15 分以上洗浄してください。 そして、ただちに医師にご相談ください。 液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

ラックの設置・取り扱いに関する注意事項

	警告
 	<b>規格以外のラックで使用しない</b> 本製品は EIA 規格に適合した 19 型(インチ)ラックにも取り付け使用できます。 EIA 規格に適合していないラックに取り付けて使用しないでください。 本製品が正常に動作しなくなるばかりか、けがや周囲の破損の原因となることがあります。 本製品が使用できるラックについては保守サービス会社にお問い合わせください。

 	<b>指定以外の場所で使用しない</b> 本製品を取り付けるラックを設置環境に適していない場所に設置しないでください。 本製品やラックに取り付けているその他のシステムに悪影響をおよぼすばかりでなく、火災やラックの転倒によるけがなどをするおそれがあります。 設置場所に関する詳細な説明や耐震工事についてはラックに添付の説明書を読むか保守サービス会社にお問い合わせください。
---	--

	注意
       	<b>環境温度</b> 運用時、ラック周囲の温度は、周りの温度より高くなります。 そのため、各機器の設置は、メーカーの動作保証温度をその環境に合わせて考慮してください。 <b>エアフロー</b> 本製品が十分冷却できるよう、ラックのエアフローを確保してください。 <b>ラックへの搭載</b> ラックへ機器を搭載するときは、重さが均一になるようにしてください。 左右または上下に偏りがあると危険です。 <b>過電流保護</b> 電源の過負荷対策のため、過電流保護装置(ブレーカー)への接続を考慮してください。 この問題を解決するため、機器の銘板には装置の定格が記載されています。 <b>マウントされた機器の接地</b> ラックにマウントされた機器は確実に接地してください。 <b>1人で搬送・設置をしない</b> ラックの搬送・設置は 2 人以上で行ってください。 ラックが倒れてけがや周囲の破損の原因となります。 特に高さのあるラック(44U ラックなど)はスタビライザなどによって固定されていないときは不安定な状態にあります。 必ず 2 人以上でラックを支えながら搬送・設置をしてください。 <b>荷重が集中してしまうような設置はしない</b> ラック、および取り付けた装置の重量が一点に集中しないようスタビライザを取り付けるか、複数台のラックを連結して荷重を分散してください。 ラックが倒れてけがをするおそれがあります。 <b>1人で部品の取り付けをしない／ラック用ドアのヒンジピンの状態を確認する</b> ラック用のドアやレールなどの部品は 2 人以上で取り付けてください。 また、ドアの取り付け時には上下のヒンジのピンが確実に差し込まれていることを確認してください。 部品を落として破損させるばかりでなく、けがをするおそれがあります。 <b>ラックが不安定な状態で本製品をラックから引き出さない</b> ラックから本製品を引き出す際は、必ずラックを安定させた状態(スタビライザの設置や耐震工事など)で引き出してください。 ラックが倒れてけがをするおそれがあります。 <b>複数台の装置をラックから引き出した状態にしない</b> 複数台の装置をラックから引き出すとラックが倒れてけがをするおそれがあります。 装置は一度に 1 台ずつ引き出してください。 <b>電源の定格を超える配線をしない</b> 火傷や火災、本製品の損傷を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。 なお、電源設備の設置や配線に関しては、電源工事を行った業者や管轄の電力会社にお問い合わせください。 <b>指を挟まない</b> ラックへの取り付け・取り外しの際にレールなどで指を挟んだり、切ったりしないよう十分注意してください。 <b>ラックから引き出した状態にある装置に荷重をかけない</b> ラックから引き出された状態にある装置の上から荷重をかけないでください。 フレームが曲がり、ラックへ搭載できなくなります。 また、装置が落下し、けがをするおそれがあります。



電源・電源コードに関する注意事項

**ぬれた手で電源プラグを持たない**

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

**アース線をガス管につながらない**

アース線は絶対にガス管につながらないでください。ガス爆発の原因になります。

**指定以外のコンセントに差し込まない**

指定された電圧でアース付のコンセントをお使いください。指定以外のコンセントを使うと火災や漏電の原因となります。また延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本製品の電源仕様に合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。

クラスⅠのアース線付のACコードセットを使用するときは、接地接続は必ず、電源プラグを電源につなく前に行ってください。接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

**たこ足配線にしない**

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。

**電源プラグを中途半端に差し込まない**

電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因になることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

**指定以外の電源コードを使わない**

弊社で指定された電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。

また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードを踏まない。
- 電源コードを束ねたまま使わない。
- 損傷した電源コードを使わない。

- 電源コードをテープなどで固定しない。
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードの上にものを載せない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。

(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください)

**添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない**

添付の電源コードは本製品に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の製品や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

**電源コードを持って引き抜かない**

電源コードを抜く時はコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。コード部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとコード部分が破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項

**指定以外の場所に設置・保管しない**

本製品を次に示すような場所や本製品のユーザーズガイドで指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 不安定な場所。

**腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない**

腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する場所に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。本製品内部のプリント基板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがあるときは、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

**電源コードを差し込んだまま内蔵オプションやインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない**

本製品内蔵オプションやインタフェースケーブルの取り付け／取り外しは、接続されている全ての製品の電源をOFFにし、本製品および接続されている全ての製品の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したまま本製品内の部品やケーブル、コネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

**指定以外のインタフェースケーブルを使用しない**

インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する製品やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブル・コネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。

- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- ネジ止めなどのロックを外したまま使用しない。

お手入れ・取り扱いに関する注意事項

**自分で分解・修理・改造はしない**

本製品のユーザーズガイドに記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本製品が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。

**電源プラグを差し込んだまま取り扱わない**

お手入れや本製品内蔵用オプションの取り付け／取り外し、本製品のケーブルの取り付け／取り外しは、接続されている全ての製品の電源をOFFにして、本製品および接続されている全ての製品の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま本製品内の部品に触ると感電するおそれがあります。

また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったまま、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

**中途半端に取り付けない**

電源コードやインタフェースケーブルは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

運用中の注意事項

**スライドレールをロックしないで使用しない**

コンソールを使用する際には、スライドレールがロックされるまで引き出した位置で使用して下さい。コンソールを収納する際には先にLCDを閉じてからスライドレールのロックを外し、ラックに収納して下さい。

**雷がなったら触らない**

雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて本製品には触れないでください。また、機器の接続や取り外しも行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。

**ペットを近づけない**

本製品にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が本製品内部に入って火災や感電の原因になります。

**コンソールを引き出したまま放置しない**

コンソールにぶつかり、けがをするおそれがあります。

**動作中に本製品をラックから取り外さない**

本製品が動作しているときにラックから取り外したりしないでください。本製品が正しく動作しなくなるばかりでなく、ラックから外れてけがをするおそれがあります。

**不要な物を置かない。**

本製品の上にジュース等が入った缶やコップ等の不要な物を置かないでください。コップの中の水などがこぼれて本製品が正常に動作しなくなるばかりでなく、火災や感電の原因になります。

警告ラベルについて

本製品には、危険性のある部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これは本製品を取り扱う際に、考えられる危険性を常にお客様に意識して頂くためのものです(ラベルをはがしたり、塗りつぶしたり、汚したりしないでください)。もし、このラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどしているときは販売店にご連絡ください。警告ラベルの貼り付け位置は「ユーザーズガイド」の「警告ラベル」を参照してください。

本製品の譲渡と廃棄について

第三者への譲渡について

本製品、または本製品に添付されているものを第三者に譲渡(または売却)するときは、本書ならびに添付品一式(電子マニュアル等を含む)を一緒にお渡しください。

本製品の廃棄について

本製品の廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。なお添付の電源コードにつきましても、他の製品への誤用を防ぐため、本製品と一緒に廃棄してください。

健康を損なわないためのアドバイス

コンピュータ機器を長時間使用する上で健康を損なわないため注意していただきたいことがらを記載します。身体に負担がかからないよう心掛けましょう。

よい姿勢で作業をしましょう。

ときどき軽い体操をするなど、気分転換をはかりましょう。

ディスプレイの向きや明るさ(ブライトネス)、コントラストを見やすく調節しましょう。

その他

本製品を安全に正しく取り扱うための説明や注意事項は、オンラインドキュメントの「ユーザーズガイド」で詳しく記載されています。

本製品に関する詳しい説明が記載されている「ユーザーズガイド」は本製品に添付のユーザーズガイドCD-ROMの中にPDFファイルとして格納されています。PDFファイルは「Adobe Reader」で閲覧することができます。Adobe ReaderはAdobeのホームページから無償でダウンロードできます。同CD-ROMの中にAdobeホームページへのリンクがあります。

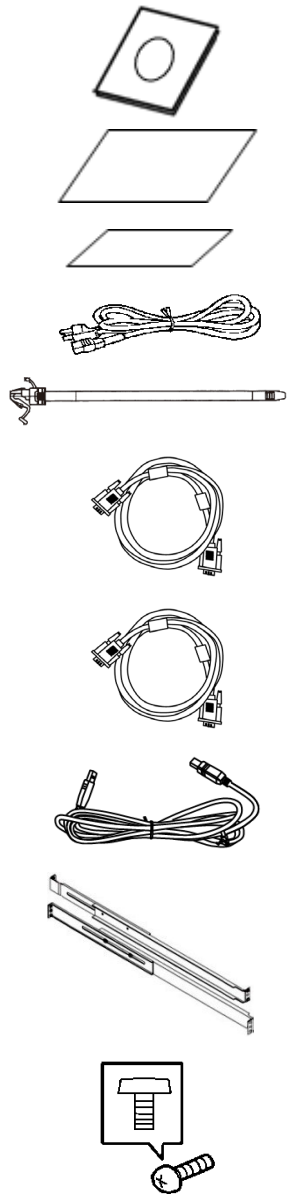
# セットアップの流れ

箱を開けてから本製品が使えるようになるまでの手順を説明します。 このスタートアップガイドに従って作業してください。

## Step 1 添付品を確認する

梱包箱を開け、添付品がそろっている事を確認してください。

- ユーザーズガイド（CD-ROM）
- スタートアップガイド（本書）
- 保証書 × 1
- AC100V 用電源コード（2.0m） × 1
- ケーブルクランプ × 2
- VGA ケーブル（1.8m） × 1
- DVI ケーブル（1.8m） × 1
- USB ケーブル（1.8m） × 1
- ガイドレール（左右）
- ねじ（M6×16） × 10



## Step 2 設置

ラックに設置する場合。

本製品は、EIA 規格に適合した 19 型(インチ)ラックに取り付けて使用します。 次の条件を守ってラックを設置した後、本製品を取り付けます。

⚠ 安全に関する注意

本製品をセットアップする前に「ユーザーズガイド」の「安全にかかわる表示について」、「本書と警告ラベルで使用する記号とその内容」、「安全上のご注意」をお読みの上、注意事項を守って正しくセットアップしてください。

⚠ 警告

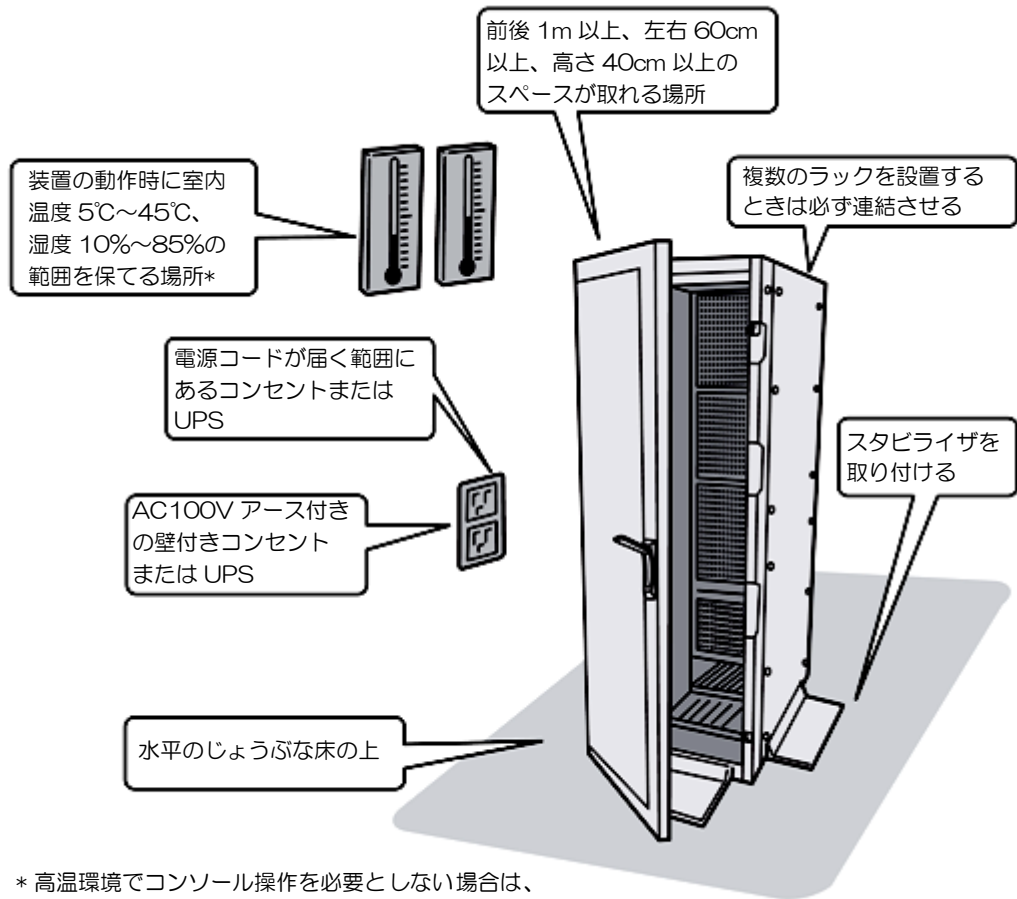
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
- 雷が鳴り出したらケーブル等を含め装置に触らないでください。 感電のおそれがあります。
- 分解・修理・改造を行わないでください。

⚠ 注意

- 水、湿気、ほこり、油、煙の多い所、また直射日光の当たる場所に設置しないでください。
- 電源コードは指定の電圧、コンセントに接続してください。
- 電源コードはタコ足配線にしないでください。

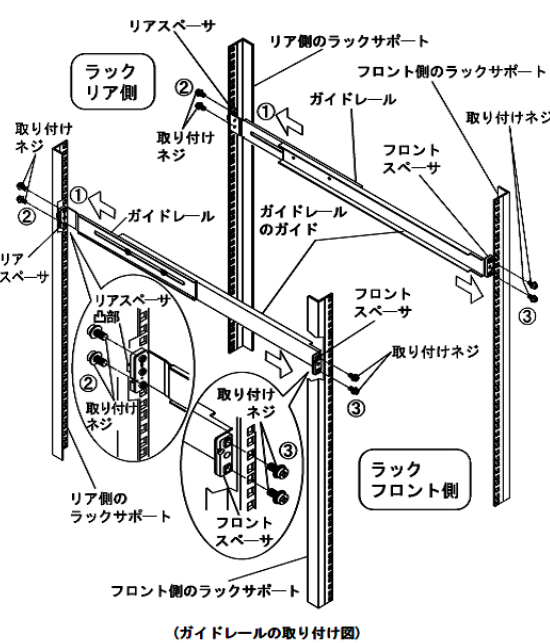


「ユーザーズガイド」の、「2 章 準備」の「ラックの設置」、「ラックへの取り付け」、「本製品の取り付け」を参照してください。

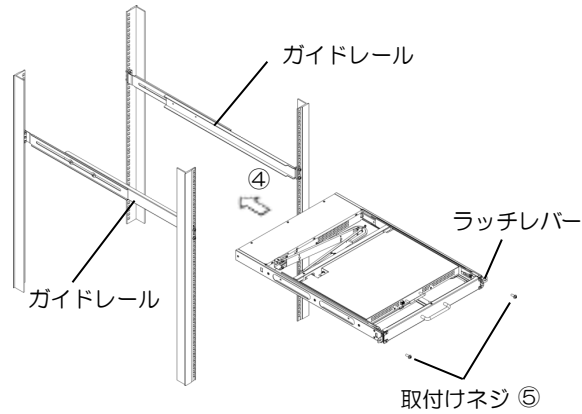


\* 高温環境でコンソール操作を必要としない場合は、本製品をラックに収納して運用してください。

1. ガイドレールは、ガイドレールのガイドを前方、内側を向くように取り付けます。（フロントスペースがラックフロント側、リアスペースがラックリア側になります）ガイドレールのリアスペース凸部をリア側のラックサポート穴に入れます。（図中①）
2. ラックサポートの外側からリアスペース上下の穴を取り付けネジで固定します。（図中②）
3. フロント側のラックサポート内側にガイドレールを合わせて、上下の穴を取り付けネジで固定します。（図中③）



4. ガイドレール前方から本製品を入れます。（図中④）
5. 本製品を止まるまで押し込み、前面 2 箇所を取り付けネジで固定します。（図中⑤）



本製品の上下に搭載した装置に干渉しないことを確認してください。また、コンソールを引き出し／格納した際に上下の装置と干渉しないことを確認してください。干渉する場合には、装置間に隙間が空くように本製品およびガイドレールのネジ止め位置を調整してください。それでも、他の装置と干渉するおそれがある場合は、1U 分の間隔を空けるなどで、搭載位置を変更してください。

## Step 3 ケーブルの接続

接続手順



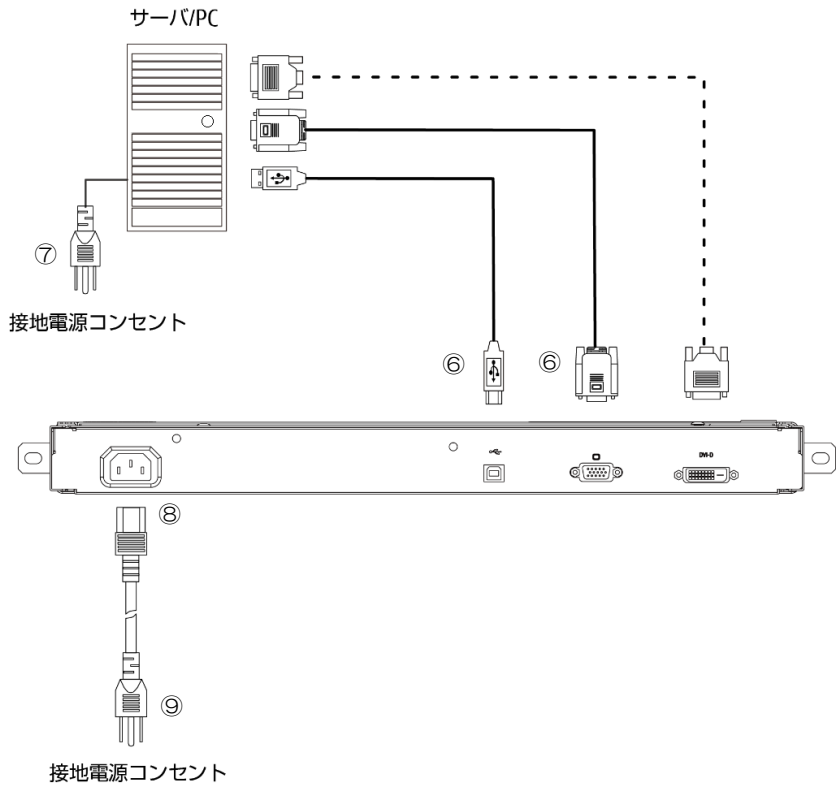
- ケーブル接続時には以下の点に注意してください。
- 本製品やサーバおよび周辺装置の電源を OFF にしてからケーブル接続をしてください。ON のまま接続すると誤動作や故障の原因となります。
  - VGA ケーブルあるいは DVI ケーブルのコネクタを接続する際には、コネクタの固定ネジを締めて、確実に本製品およびサーバに接続してください。 確実に接続していない場合には画像が乱れたり、映らなくなったりするおそれがあります。



「ユーザーズガイド」の、「2 章 準備」の「ケーブルの接続」、「ケーブルの抜け防止について」を参照してください。



次の手順に従ってケーブルを接続します。



(ケーブル接続例)

1. 添付の USB ケーブルと、VGA ケーブルまたは DVI ケーブルを、本製品とサーバに接続します。(図中⑥)



不具合が起こる可能性があるため、VGA ケーブルと DVI ケーブルは同時に接続しないでください。

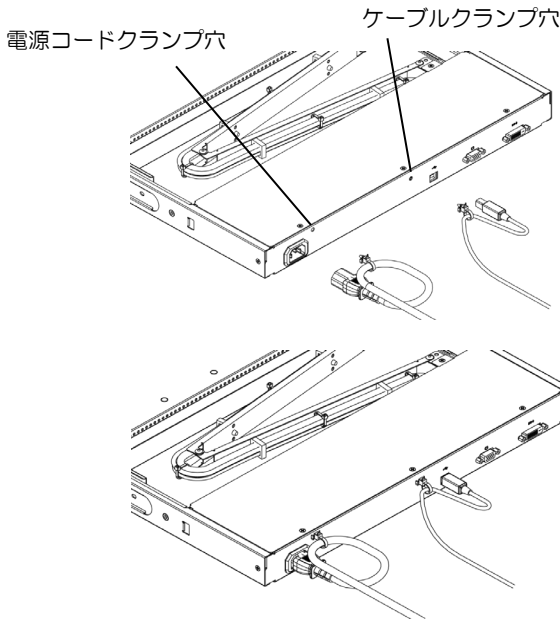
2. サーバの電源コードを電源コンセントに接続します。(図中⑦) ただし、サーバの電源は OFF のままにします。

3. 電源コードを本製品の電源コネクタに接続します。(図中⑧)

#### <ケーブルクランプ取り付け手順>

添付品のケーブルクランプを電源コードに取り付け、電源コネクタ横の電源コードクランプ穴に取り付けます。

また、同様にケーブルクランプを USB ケーブルに取り付け、USB コネクタ横のケーブルクランプ穴に取り付けます。



ケーブルクランプの余長は、はさみ等でカットしてください。

電源コードや USB ケーブルを取り外す際には、ケーブルクランプのフックをつまみながら、ケーブルクランプを引き抜いてください。

4. 電源コードを電源コンセントに接続します。(図中⑨)



指定された電源コード以外のコードを使用しないでください。

ケーブル、電源コードを曲げて使用する際には、曲げ R $\geq$ 60mm で使用してください。曲げ R が小さすぎるとケーブル、電源コードの割れ、破断の原因となります。

5. 正しく接続されている事を確認した後、サーバの電源を ON にして起動します。

6. サーバが起動したら、LCD、キーボード、タッチパッドの設定・確認を行ってください。設定を変更した場合はサーバを再起動してください。



本製品の LCD、キーボード、タッチパッドの設定方法はユーザズガイドを参照してください。

## Step 4 外付け USB マウスの接続

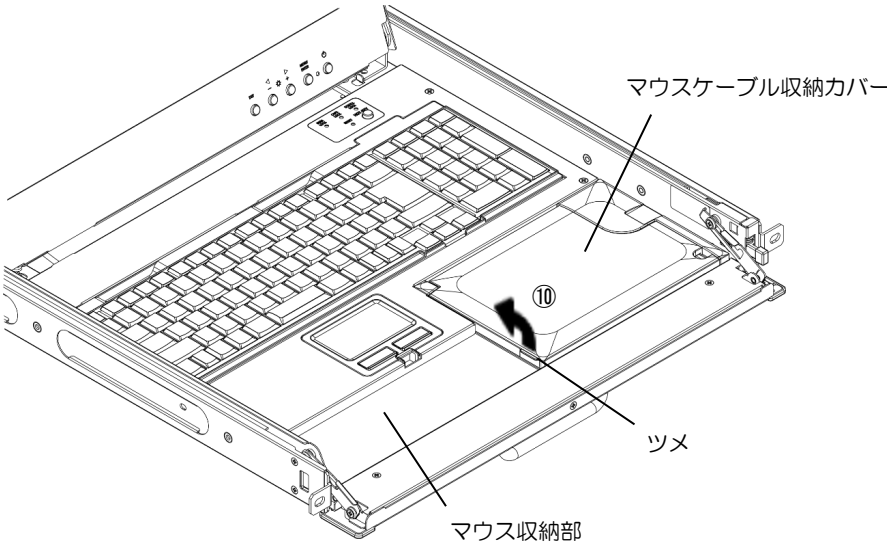
本製品には USB マウスのみ接続可能な外付け USB ポートを1つ装備しています。

外付け USB ポートには Express サーバ純正オプションの USB マウスが接続できます。それ以外の USB 機器を接続した場合には、認識されない場合や、認識しても正常に動作できない場合があります。

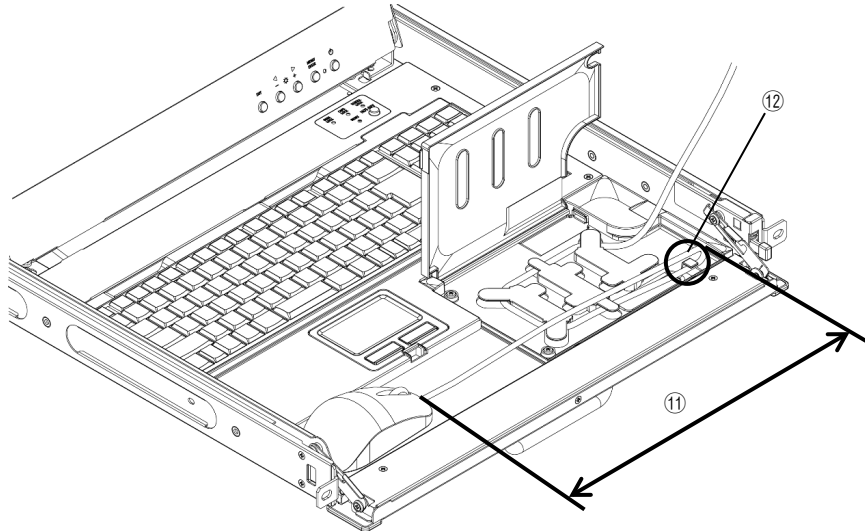


- 外付け USB マウスを使用される場合には、本製品のキーボードの上に USB マウスを載せないでください。
- マウスケーブル収納カバーの上で外付け USB マウスを操作することができますが、LCD 部を閉じる際やコンソールユニットをラックに収納する際には、必ず外付け USB マウスをマウス収納部に収めてください。
- 前面カバーを閉じる際や LCD 部を閉じる際、コンソールユニットをラックに収納する際には、マウスケーブルを挟まない様にして下さい。

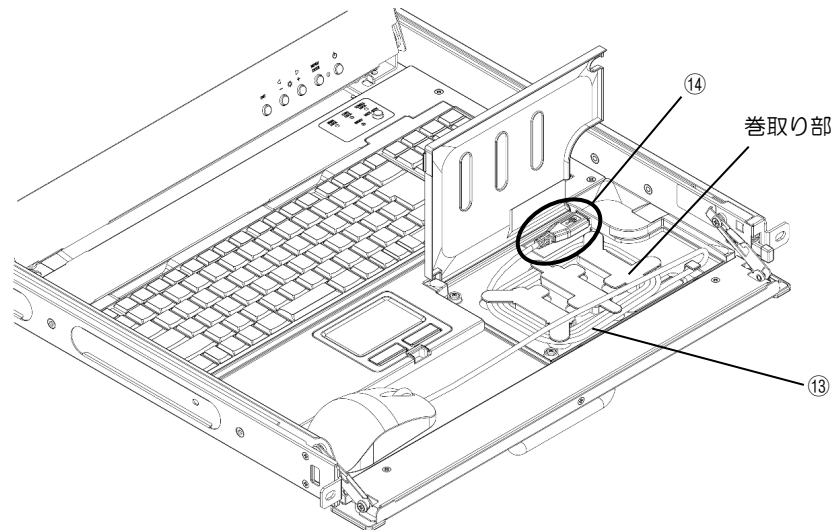
1. マウスケーブル収納カバーのツメを持って、カバーを開きます。(図中⑩)



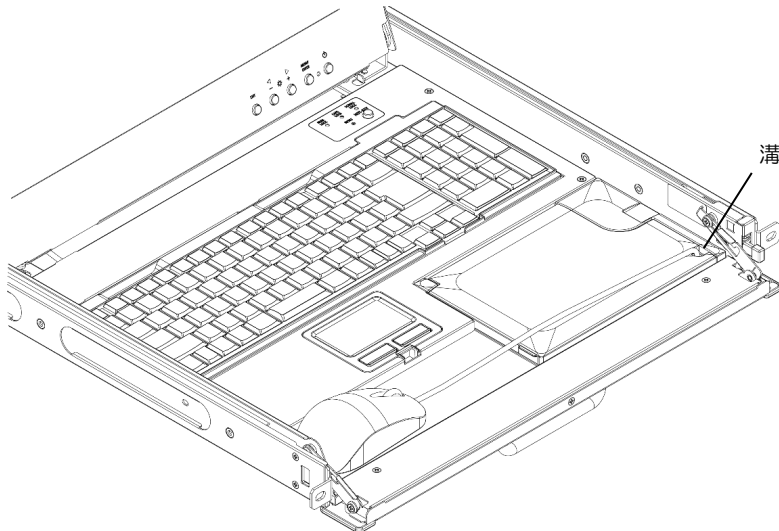
2. マウスケーブル収納カバーから外部に出る分だけのケーブル長さを確保 (図中⑪) し、ケーブルを図のようにフックに引掛けます。(図中⑫)



3. ケーブルを巻取り部で巻取り (図中⑬)、外付け USB ポートに USB コネクタを接続します。(図中⑭) なお、ケーブルの長さによって USB コネクタ部の接続がうまくいかない場合は、巻取り部でケーブル長さの調整を行います。



4. マウスケーブル収納カバーの溝からマウスのケーブルが外部へ出るように、カチッという音がするまでカバーを閉めます。



(外付けマウス収納完成図)

#### 商標について

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。  
このマニュアルは再生紙を使用しています。  
© NEC Corporation 2017  
NEC の許可なく複製・改変などを行うことはできません。